

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成24年7月30日
【四半期会計期間】	第25期第3四半期（自平成22年7月1日 至平成22年9月30日）
【会社名】	ハイブリッド・サービス株式会社
【英訳名】	HYBRID SERVICE CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 重川 晴彦
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋蛸殻町二丁目13番6号
【電話番号】	03（6731）3410
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 池上 純哉
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋蛸殻町二丁目13番6号
【電話番号】	03（6731）3410
【事務連絡者氏名】	取締役管理部長 池上 純哉
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号）

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

当社では、過年度に不適切な取引及び会計処理が行われている疑義が判明し、外部の第三者調査委員会による事実関係の解明等を行ってきましたが、平成24年7月24日に調査結果を受領いたしました。

当社では、第三者調査委員会による調査及びその後の社内調査の結果を受けて、在庫の不適切な返品処理に関する会計処理を検討し、過年度における四半期報告書の記載事項の一部に訂正すべき事項があるとの判断に至りましたので、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、平成22年11月に提出した第25期第3四半期（自平成22年7月1日至平成22年9月30日）四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

また、四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所については、XBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を提出いたします。

なお、訂正後の四半期連結財務諸表については、三優監査法人により四半期レビューを受け、その四半期レビュー報告書を添付しております。

2【訂正事項】

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の分析】

(2) 仕入実績

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

第5【経理の状況】

1【四半期連結財務諸表】

(2)【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

【第3四半期連結会計期間】

【注記事項】

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

(1株当たり情報)

2. 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額

3【訂正箇所】

訂正箇所は____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正前)

回次	第24期 第3四半期連結 累計期間	第25期 第3四半期連結 累計期間	第24期 第3四半期連結 会計期間	第25期 第3四半期連結 会計期間	第24期
会計期間	自平成21年 1月1日 至平成21年 9月30日	自平成22年 1月1日 至平成22年 9月30日	自平成21年 7月1日 至平成21年 9月30日	自平成22年 7月1日 至平成22年 9月30日	自平成21年 1月1日 至平成21年 12月31日
売上高(千円)	<u>14,748,016</u>	14,778,578	4,904,077	4,776,074	<u>21,903,950</u>
経常利益(千円)	51,885	15,259	<u>11,640</u>	13,242	176,037
四半期(当期)純利益又は四半期 純損失(△)(千円)	△28,483	12,256	<u>10,286</u>	6,477	68,035
純資産額(千円)	—	—	1,601,748	1,677,103	1,724,156
総資産額(千円)	—	—	7,164,570	7,445,569	8,671,679
1株当たり純資産額(円)	—	—	29,407.14	30,790.61	31,654.48
1株当たり四半期(当期)純利益 金額又は1株当たり四半期純損失 金額(△)(円)	△522.93	225.02	<u>188.85</u>	118.93	1,249.08
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	—	—	—	—	—
自己資本比率(%)	—	—	22.4	22.5	19.9
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	△57,288	456,846	—	—	△804,937
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	△274,903	147,393	—	—	△146,167
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	△222,001	19,235	—	—	80,259
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(千円)	—	—	1,598,065	1,904,082	1,284,504
従業員数(人)	—	—	108	104	107

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第24期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。また、第24期第3四半期連結会計期間、第25期第3四半期連結累計期間及び第24期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。第25期第3四半期連結会計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(訂正後)

回次	第24期 第3四半期連結 累計期間	第25期 第3四半期連結 累計期間	第24期 第3四半期連結 会計期間	第25期 第3四半期連結 会計期間	第24期
会計期間	自平成21年 1月1日 至平成21年 9月30日	自平成22年 1月1日 至平成22年 9月30日	自平成21年 7月1日 至平成21年 9月30日	自平成22年 7月1日 至平成22年 9月30日	自平成21年 1月1日 至平成21年 12月31日
売上高 (千円)	<u>14,689,516</u>	14,778,578	4,904,077	4,776,074	<u>21,845,450</u>
経常利益 (千円)	51,885	15,259	<u>16,140</u>	13,242	176,037
四半期 (当期) 純利益又は四半期 純損失 (△) (千円)	△28,483	12,256	<u>12,539</u>	6,477	68,035
純資産額 (千円)	—	—	1,601,748	1,677,103	1,724,156
総資産額 (千円)	—	—	7,164,570	7,445,569	8,671,679
1株当たり純資産額 (円)	—	—	29,407.14	30,790.61	31,654.48
1株当たり四半期 (当期) 純利益 金額又は1株当たり四半期純損失 金額 (△) (円)	△522.93	225.02	<u>230.22</u>	118.93	1,249.08
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期) 純利益金額 (円)	—	—	—	—	—
自己資本比率 (%)	—	—	22.4	22.5	19.9
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	△57,288	456,846	—	—	△804,937
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	△274,903	147,393	—	—	△146,167
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	△222,001	19,235	—	—	80,259
現金及び現金同等物の四半期末 (期末) 残高 (千円)	—	—	1,598,065	1,904,082	1,284,504
従業員数 (人)	—	—	108	104	107

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第24期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。また、第24期第3四半期連結会計期間、第25期第3四半期連結累計期間及び第24期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。第25期第3四半期連結会計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

第2【事業の状況】

1【生産、受注及び販売の状況】

～中略～

(訂正前)

(2) 仕入実績

当第3四半期連結会計期間における仕入実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第3四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)	前年同四半期比 (%)
マーケティングサプライ事業 (千円)	3,523,193	86.7
環境関連事業 (千円)	561,963	<u>235.3</u>
その他の事業 (千円)	370,465	103.6
合計 (千円)	4,455,622	<u>95.6</u>

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
3. 当第3四半期連結会計期間において事業の種類別セグメントを変更したため、前年同四半期比較にあたっては前第3四半期連結会計期間分を変更後の区分に組み替えて行っております。なお、セグメント変更の内容については、「第5 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項 (セグメント情報)」に記載のとおりであります。

～後略～

(訂正後)

(2) 仕入実績

当第3四半期連結会計期間における仕入実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称	当第3四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)	前年同四半期比 (%)
マーケティングサプライ事業 (千円)	3,523,193	86.7
環境関連事業 (千円)	561,963	<u>304.1</u>
その他の事業 (千円)	370,465	103.6
合計 (千円)	4,455,622	<u>96.7</u>

- (注) 1. セグメント間の取引については相殺消去しております。
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。
3. 当第3四半期連結会計期間において事業の種類別セグメントを変更したため、前年同四半期比較にあたっては前第3四半期連結会計期間分を変更後の区分に組み替えて行っております。なお、セグメント変更の内容については、「第5 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項 (セグメント情報)」に記載のとおりであります。

4【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期報告書提出日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

（訂正前）

（1）業績の状況

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、中国や新興国の経済回復の牽引や政府による経済対策の効果で一部回復の兆しが見られたものの、円高進行や株価低迷による景気の下振れ懸念など、先行き不透明な状況が続いております。

また、当社グループの主力事業が属するオフィス用品業界のマーケティングサプライ品（プリンタ印字廻りの消耗品）市場におきましては、オフィスを中心とした事務用消耗品の節約志向は根強く、価格にも敏感な傾向が続いており、依然として厳しい環境にあります。

このような状況のもと、当社グループは、主力商品であるマーケティングサプライ品の販売による安定した収益の確保に努めるとともに、新たに太陽光発電システムの販売を手掛けるなど環境関連の商品ラインナップを充実させることにより販売強化を推進してまいりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間における売上高は4,776百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益は28百万円（前年同期比26.2%増）、経常利益は13百万円（前年同期比13.8%増）、四半期純利益は6百万円（前年同期比37.0%減）となりました。

～後略～

（訂正後）

（1）業績の状況

当第3四半期連結会計期間におけるわが国経済は、中国や新興国の経済回復の牽引や政府による経済対策の効果で一部回復の兆しが見られたものの、円高進行や株価低迷による景気の下振れ懸念など、先行き不透明な状況が続いております。

また、当社グループの主力事業が属するオフィス用品業界のマーケティングサプライ品（プリンタ印字廻りの消耗品）市場におきましては、オフィスを中心とした事務用消耗品の節約志向は根強く、価格にも敏感な傾向が続いており、依然として厳しい環境にあります。

このような状況のもと、当社グループは、主力商品であるマーケティングサプライ品の販売による安定した収益の確保に努めるとともに、新たに太陽光発電システムの販売を手掛けるなど環境関連の商品ラインナップを充実させることにより販売強化を推進してまいりました。

この結果、当第3四半期連結会計期間における売上高は4,776百万円（前年同期比2.6%減）、営業利益は28百万円（前年同期比26.2%増）、経常利益は13百万円（前年同期比18.0%減）、四半期純利益は6百万円（前年同期比48.3%減）となりました。

～後略～

第5【経理の状況】

～中略～

1 【四半期連結財務諸表】
 (2) 【四半期連結損益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】
 (訂正前)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年1月1日 至 平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年1月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	14,748,016	14,778,578
売上原価	13,469,034	13,506,012
売上総利益	1,278,981	1,272,566
販売費及び一般管理費	※ 1,200,616	※ 1,210,675
営業利益	78,365	61,891
営業外収益		
受取利息	3,348	2,061
受取配当金	519	324
仕入割引	—	2,649
受取手数料	2,848	—
その他	6,152	4,501
営業外収益合計	12,869	9,537
営業外費用		
支払利息	37,295	40,063
為替差損	—	14,510
その他	2,053	1,595
営業外費用合計	39,348	56,168
経常利益	51,885	15,259
特別利益		
固定資産売却益	2,510	—
投資有価証券売却益	671	—
貸倒引当金戻入額	500	29,696
特別利益合計	3,681	29,696
特別損失		
固定資産売却損	719	646
固定資産除却損	23	9
投資有価証券売却損	1,567	—
投資有価証券評価損	48,069	4,646
事務所移転費用	1,657	—
特別損失合計	52,036	5,302
税金等調整前四半期純利益	3,530	39,654
法人税、住民税及び事業税	10,122	13,305
法人税等調整額	21,891	14,091
法人税等合計	32,013	27,397
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△28,483	12,256

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年1月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年1月1日 至平成22年9月30日)
売上高	<u>14,689,516</u>	14,778,578
売上原価	<u>13,415,034</u>	13,506,012
売上総利益	<u>1,274,481</u>	1,272,566
販売費及び一般管理費	※ 1,200,616	※ 1,210,675
営業利益	<u>73,865</u>	61,891
営業外収益		
受取利息	3,348	2,061
受取配当金	519	324
仕入割引	—	2,649
受取手数料	2,848	—
受贈益	<u>4,500</u>	—
その他	6,152	4,501
営業外収益合計	<u>17,369</u>	9,537
営業外費用		
支払利息	37,295	40,063
為替差損	—	14,510
その他	2,053	1,595
営業外費用合計	<u>39,348</u>	56,168
経常利益	<u>51,885</u>	15,259
特別利益		
固定資産売却益	2,510	—
投資有価証券売却益	671	—
貸倒引当金戻入額	500	29,696
特別利益合計	<u>3,681</u>	29,696
特別損失		
固定資産売却損	719	646
固定資産除却損	23	9
投資有価証券売却損	1,567	—
投資有価証券評価損	48,069	4,646
事務所移転費用	1,657	—
特別損失合計	<u>52,036</u>	5,302
税金等調整前四半期純利益	<u>3,530</u>	39,654
法人税、住民税及び事業税	10,122	13,305
法人税等調整額	21,891	14,091
法人税等合計	<u>32,013</u>	27,397
四半期純利益又は四半期純損失(△)	<u>△28,483</u>	12,256

【第3四半期連結会計期間】

(訂正前)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	4,904,077	4,776,074
売上原価	4,485,730	4,346,485
売上総利益	418,346	429,588
販売費及び一般管理費	※ 395,739	※ 401,064
営業利益	22,607	28,523
営業外収益		
受取利息	1,067	863
受取配当金	219	103
仕入割引	680	—
受取手数料	669	1,007
損害賠償金	—	1,000
その他	649	1,565
営業外収益合計	<u>3,287</u>	4,538
営業外費用		
支払利息	12,305	12,942
為替差損	—	6,601
その他	1,949	275
営業外費用合計	14,254	19,819
経常利益	<u>11,640</u>	13,242
特別利益		
投資有価証券売却益	295	—
投資有価証券評価損戻入益	5,478	—
貸倒引当金戻入額	<u>3,916</u>	2,541
特別利益合計	<u>9,690</u>	2,541
特別損失		
固定資産売却損	—	144
投資有価証券売却損	288	—
投資有価証券評価損	—	233
特別損失合計	288	378
税金等調整前四半期純利益	<u>21,042</u>	15,405
法人税、住民税及び事業税	4,199	3,325
法人税等調整額	<u>6,557</u>	5,602
法人税等合計	<u>10,756</u>	8,927
四半期純利益	<u>10,286</u>	6,477

(訂正後)

(単位：千円)

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
売上高	4,904,077	4,776,074
売上原価	4,485,730	4,346,485
売上総利益	418,346	429,588
販売費及び一般管理費	※ 395,739	※ 401,064
営業利益	22,607	28,523
営業外収益		
受取利息	1,067	863
受取配当金	219	103
仕入割引	680	—
受取手数料	669	1,007
損害賠償金	—	1,000
受贈益	4,500	—
その他	649	1,565
営業外収益合計	7,787	4,538
営業外費用		
支払利息	12,305	12,942
為替差損	—	6,601
その他	1,949	275
営業外費用合計	14,254	19,819
経常利益	16,140	13,242
特別利益		
投資有価証券売却益	295	—
投資有価証券評価損戻入益	5,478	—
貸倒引当金戻入額	3,216	2,541
特別利益合計	8,990	2,541
特別損失		
固定資産売却損	—	144
投資有価証券売却損	288	—
投資有価証券評価損	—	233
特別損失合計	288	378
税金等調整前四半期純利益	24,842	15,405
法人税、住民税及び事業税	4,199	3,325
法人税等調整額	8,103	5,602
法人税等合計	12,303	8,927
四半期純利益	12,539	6,477

【注記事項】

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

～中略～

(訂正前)

前第3四半期連結累計期間（自平成21年1月1日 至平成21年9月30日）

	マーケティング サプライ事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	13,585,087	<u>1,162,929</u>	<u>14,748,016</u>	—	<u>14,748,016</u>
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	25,250	20,774	46,024	(46,024)	—
計	13,610,337	<u>1,183,703</u>	<u>14,794,041</u>	(46,024)	<u>14,748,016</u>
営業利益又は営業損失 (△)	409,348	<u>△62,852</u>	<u>346,496</u>	(268,131)	<u>78,365</u>

～後略～

(訂正後)

前第3四半期連結累計期間（自平成21年1月1日 至平成21年9月30日）

	マーケティング サプライ事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	13,585,087	<u>1,104,429</u>	<u>14,689,516</u>	—	<u>14,689,516</u>
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	25,250	20,774	46,024	(46,024)	—
計	13,610,337	<u>1,125,203</u>	<u>14,735,541</u>	(46,024)	<u>14,689,516</u>
営業利益又は営業損失 (△)	409,348	<u>△67,352</u>	<u>341,996</u>	(268,131)	<u>73,865</u>

～後略～

(1株当たり情報)

～中略～

2. 1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額

～中略～

(訂正前)

前第3四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 <u>188.85</u> 円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 118.93円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(千円)	<u>10,286</u>	6,477
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	<u>10,286</u>	6,477
期中平均株式数(株)	54,468	54,468
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

(訂正後)

前第3四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額 <u>230.22</u> 円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。	1株当たり四半期純利益金額 118.93円 なお、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (自平成22年7月1日 至平成22年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額		
四半期純利益(千円)	<u>12,539</u>	6,477
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純利益(千円)	<u>12,539</u>	6,477
期中平均株式数(株)	54,468	54,468
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	—	—

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年7月30日

ハイブリッド・サービス株式会社

取締役会 御中

三優監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 杉田 純 印

代表社員
業務執行社員 公認会計士 山本 公太 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているハイブリッド・サービス株式会社の平成21年1月1日から平成21年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成21年7月1日から平成21年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成21年1月1日から平成21年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、ハイブリッド・サービス株式会社及び連結子会社の平成21年9月30日現在の財政状態、同日をもって終了する第3四半期連結会計期間及び第3四半期連結累計期間の経営成績並びに第3四半期連結累計期間のキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

四半期報告書の訂正報告書の提出理由に記載されているとおり、会社は金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき四半期連結財務諸表を訂正している。当監査法人は訂正後の四半期連結財務諸表について四半期レビューを行った。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。